

にぎわい

—日本海にぎわい・交流海道推進協議会通信—

～会員だより～

新潟港開港130周年

—新潟港 世界の心が出会う場所—

新潟港が明治元年(1868年)に五港(新潟、函館、神奈川、兵庫、長崎)の一つとして開港してから今年で130周年を迎えます。

これを記念して新潟市では、地元関係団体と共に記念事業実行委員会(会長:長谷川義明市長)を結成し各種イベントを行うための準備を進めています。

今年、新潟港は開港130周年を迎えます。

新潟市は、日本海と瀬越川・阿賀野川に開港される豊かな自然は物産の宝庫とされ、多くの先人達の知恵と努力により発展。今年41、新潟港が開港130周年を迎え、新潟市は、日本海と瀬越川・阿賀野川に開港される豊かな自然は物産の宝庫とされ、多くの先人達の知恵と努力により発展。21世紀を目前に、かみかみなを成長を指す「みなとまち新潟」を目的にアピールするために各種記念事業を行います。多くの市民の参加をお願いします。

新潟港開港130周年記念事業実行委員会会長
新潟市長 長谷川義明

記念事業のお問い合わせは
開港130周年記念事業実行委員会事務局
新潟市役所港湾空港課内
TEL228-1000(内線2856)

7月には、新造客船『ぱしふいっくびいなす』(26,518ト)で、姉妹都市ウラジオストクへのクルージングで市民レベルでの交流を行います。

8月には、帆船『日本丸』が来港します。船内一般公開やセイルドリル(展帆作業)などを行い、夜にはライトアップも行われ夏の港は、ムード満点。

また、毎年恒例の夏のイベント『新潟まつり』も重なり、『新潟の街』は最高潮に達します。

開港記念日の11月19日には、130周年記念イベントの掉尾を飾る記念コンサートや講演を行います。記念コンサートでは、新潟市の国際親善名誉市民であるジャズ界の巨匠デュークエリントンのナンバーを市民ジャズバンドにより華やかに演奏します。

新潟港開港130周年記念事業

豪華客船 「ばしふいっくびいなす」公開

西港中央埠頭

7/14(水) 午後1:00～3:00

帆船「日本丸」寄港

西港山の下埠頭

8/5(水) 入港 午前10:00

8/7(金) 一般公開
午前9:00～11:00
午後1:00～3:00

8/8(土) セイルドリル(帆を張る)
午後1:00～3:30

8/10(月) 出港 午後1:00

(停泊期間中「フォトコンテスト」実施!
詳しくは興内カメラ商組合加盟店へ)



開港記念式典

NEXT21「市民プラザ」

11/19(木) 午後4:00～7:30

表彰式

(キャッチフレーズ、日本丸フォトコンテスト、開港コンクール優秀作品)

記念講演

講師: 古藤忠夫氏(新潟大学教授)

スウィングブラザーズビッグバンドによる
デュークエリントンナンバーの演奏

海上保安庁音楽隊による演奏

その他のイベント

- ・新潟港開港130周年記念展
<7/25～8/30> 郷土資料館
- ・開港130周年記念
「新潟夢海岸フェスティバル」
<7/25> 西海岸
- ・夏休み! わくわく体験キャンプin佐渡
<7/30～8/1> 両津市二つ亀
- ・歴史文化講演会 講師: 眞門冬二氏(作家)
<8/7> 午後8:30～8:00 だいにしホール
- ・ウラジオストク姉妹港フェア
<8/6～8/8> 国際旅客ターミナル(中央埠頭)

あらかじめ、ハガキ等で申し込みいただく場合があります。
詳しくは「市報にいがた」に掲載します。

この機会に新潟市にぜひ来港してください。

その他、詳細については新潟市へお問い合わせください。

(新潟市 港湾空港課)

～レポート～

新潟市の環日本海交流について

姉妹・友好都市交流について

姉妹・友好都市名: ハバロフスク市(ロシア連邦ハバロフスク地方) 提携年月日: 昭和40年4月23日(1965年)	
提携の動機	交流の歴史とその現況
昭和37年に新潟市長が、ハバロフスク市を訪問して両市の交流促進について協議し、以来、児童画や版画などの交換が始まる。 その後、行政、各界の指導者が相互に訪問し、また、新潟地震の際には被災直後にハバロフスク、ウラジオストク両市より救援木材が寄贈され、両市の関係が深まった。	○定期航空路の開設(S48年) ○文化等各種使節団の交換 ○小・中・高生や語学研修生等青少年の交流 ○野球、駅伝チーム等スポーツ交流 ○見本市、物産展の開催

姉妹・友好都市名； ハルピン市（中華人民共和国黒龍江省） 提携年月日 ； 昭和54年12月17日（1979年）	
提携の動機	交流の歴史とその現況
<p>新潟は古くから黒龍江省に縁がある人が多く、近くは、昭和53年亀田郷土地改良区が黒龍江省三江平原の土地改良事業調査に協力するなど、日中友好に寄せる市民の関心も高いものがあった。友好都市提携を呼び掛ける書簡にハルピン市が応え、提携が実現した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○農業研修生、医学研修生の受け入れ ○新潟・ハルピン経済技術交流促進協会設立（S61年） ○文化等各種使節団の交換 ○初の直行チャーター便が就航（H4年） ○友好校の万代小学校等の青少年交流 ○駅伝チーム等スポーツ交流 ○見本市、物産展の開催 ○大気汚染自動測定機器の提供等環境交流

姉妹・友好都市名； ウラジオストク市（ロシア連邦沿海地方） 提携年月日 ； 平成3年2月28日（1991年）	
提携の動機	交流の歴史とその現況
<p>昭和62年ウラジオストク市で開催された沿岸貿易見本市に新潟市が参加して以来、港を持つ都市同士として両市の往来が始まる。</p> <p>平成元年には戦後初の観光船がウラジオストク港に向けて出港した。また、ウラジオストク市在住の少年が、やけどの治療のため新潟市民病院に入院（H2年）。その後使節団の交換などを経て、ウラジオストク市の公式開放を待たずに姉妹都市の提携を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市職員を日本語教師として派遣 ○小・中・高生や語学研修生等青少年の交流 ○駅伝チーム等スポーツ交流 ○定期航空路の開設（H5年） ○定期航路の就航（H5年） ○文化等各種使節団の交換 ○見本市、物産展の開催

以上、新潟市が環日本海交流を積極的に進めてきた歴史、現状をまとめてみました。

（新潟市 港湾空港課）

お知らせ

平成10年度 総会の開催について

平成10年度の協議会総会の開催については、富山県新湊市にて8月25日(総会及びシンポジウム)26日(現地見学会)の両日開催することで、「にぎわい6号」にてお知らせさせて頂いたところですが、近々案内を送付させて頂きますので、多数の会員皆様のご参加をお待ちしています。

(第一港湾建設局 企画課 塩本)

お願い

平成10年度 会費の納入について

平成10年度の会費納入については4月24日付けで請求させて頂いているところですが、未納の団体につきましてはなるべく早めに納入されるようお願いいたします。

(第一港湾建設局 企画課 松本)

編集後記

一建では、本年4月よりにぎわい・交流海道担当メンバーが一新され、下司(げし)企画課長、塩本補佐官、松本係長の体制となりました。遅ればせながら、この場を借りてご挨拶申し上げます。

現在、今夏管内の富山県新湊市で開催されることが決まった平成10年度総会に向けて、地元富山県、新湊市と共に、皆様のご協力を頂きながら、気持ちも新たに総会・シンポジウムの企画、今後の事業計画の立案等を進めております。新湊では伏木富山港新湊港区(富山新港)が開港30周年を迎えることから、にぎわい・交流海道の総会に合わせて記念行事の開催を予定されており、今年の総会もまたにぎやかなものとなりそうです。

平成7年に発足した協議会の活動も、来年で一応の節目となる5年目を迎えます。平成10年度は、来るべき節目の年に向けてより一層「にぎやか」に協議会活動が繰り広げられるよう微力ながら力を尽くしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

(第一港湾建設局 企画課)

編集

日本海にぎわい・交流海道推進協議会事務局

第一港湾建設局 企画課内 TEL 025-265-7781

FAX 025-230-3680